

# こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森  
Tel: 04-7132-8800  
Fax: 04-7132-8806  
Email: info@konbukuroike.com  
URL: <http://www.konbukuroike.com>

2018年9月

第53号

## 主な予定

### スタンプラリー

10月21日(日)

9:30~15:30

### キノコの観察会

10月21日(日)

10:00~12:00

於: 管理棟前

### ミニコンサート

10月21日(日)

13:30~15:30

於: こんぶくろ池前

## カブトムシの観察会

萩原 秀夫

6月頃、昨年と一緒にカブトムシの観察会を行った柏の葉 T-SITE より、是非今年も開催して欲しいとの連絡をもらいました。しかし、昨年までは毎日古橋さんがカブトムシを捕まえて飼育し、観察会に来た子供達にお土産として渡すということをしていましたが、今年はそのようなことはできないので、朝早くから参加しても結局トラップにかからなかったら子供達はがっかりするのではないかと言ったところ、お土産がなくても、「朝早くから森の空気を感じて、昆虫や自然に触れ合う体験をさせたい。」との強い希望を引き受けることにしました。

ホームページ等での申込受付や、夏休み特集号の冊子の作成などは全て T-SITE が行ってくれましたが、定員 20 組のところ倍以上のキャンセル待ちが出るほどの人気だったようです。

8月4日(土) 10時から、T-SITE2階の T-KIDS シェアスクールで、先ずは市川清さんからクイズ形式で昆虫やカブトムシの生態について説明をしてもらいましたが、正解者には手作りペンダントや竹とんぼがもらえるとあって、子供達は積極的に手を上げて答えてくれました。その後、古橋さんからペットボトルを使ったトラップ作りの説明をしてもらい、親子で小刀を使いながらマイ・トラップを作りました。初めて使う小型に悪戦苦闘しながらも、窓の開いたペットボトルに今度はマジックで名前や絵を描いてもらいましたが、意外とみんなカラフルな絵を描かずにシンプルなものが多かったように思います。

その後上田さんから、事前に用意したトラップ用の誘因食(バナナと焼酎や砂糖を混ぜ発酵させたもの)の作り方を説明してもらいました。

午後1時に今度はこんぶくろ池公園に集まってもらい、マイ・トラップに先ほどのバナナの餌を入れて、森の中の園路沿いに





仕掛けに行きました。昨年はトラップを仕掛ける作業はNPO側でやっていましたが、自分で作ったトラップを自分で選んだ木に仕掛けるという体験は喜んでもらえたようです。そうやって森の中を歩いていると、樹液の出るクヌギの木に昼間からカブトムシのメスが樹液を吸っている姿を観察することができ、翌朝の期待度が一気に上がりました。

翌朝は4時に集合し、みんなで昨日仕掛けたトラップの回収に向かいましたが、残念ながら誰のトラップにも虫一匹かかっていない状態で、主催者側としては冷や汗が出てきましたが、最後に回った樹液の出るクヌギの木の少し高いところに、またメス

のカブトムシがいてくれて、なんとか観察会の目的が果たせた気がしてホッとしました。

その後、当初の趣旨とは違いますが、市川さんが個人的に畑で育てたカブトムシを子供ひとりひとりにオスとメスのつがいでプレゼントしていただき、子供達は大いに喜んでくれ、なんとか無事に終了できました。



しかし、今年は猛暑の影響もあるのか、そもそも年々カブトムシの数が減っているのか、または夜中にカブトムシ取りに来る親子がいるからなのか、カブトムシの数が減っているように思います。このままですと来年の開催は難しいかもしれませんが、カブトムシをまた増やしていくためにも以前も取り組んだカブトムシの養育場を作って行きたいと思います。カブトムシの幼虫の天敵でもあるモグラなどから守れるような養育場を掩体壕近くの敷地に作りたと思いますので、ご協力よろしくをお願いします。

後日 T-SITE よりカブトムシの観察会のアンケート結果をもらいましたの紹介したいと思います。トラップにかからなかったものの、想像以上に満足度が高かったことはうれしい結果でしたし、こんぶくろ池公園の自然の中でしかできないアクティビティに関心が高いので、また何かイベントができるとうれしいと思います。

## 1. 今回のイベントはどこで知りましたか？ ※複数回答可

11件の回答

- 柏の葉 T-SITE や T-KIDS の店頭のチラシ 2名
- 自宅にポスティングされたチラシ 1名
- 柏の葉 T-SITE や T-KIDS のホームページ 7名
- T-KIDS からのメールマガジン 1名

## 2. このクラスを受講した満足度

11件の回答

- とても満足           4名
- 満足                   6名

## 3. イベントの感想

10件の回答

- 今年はカブトムシの数か少ないとのことで残念でした。
- トラップにカブトムシがかからなかったけれども、貴重な体験ができてよかったです。なかなか早朝の森に子供を連れていく勇気もないので、イベントのおかげで楽しい夏休みの思い出ができました。こんぶくろ池の皆様、スタッフの皆様ありがとうございました。子供もとても喜んでます。
- 自然と触れ合うことができ良かったです。
- カブトムシが取れなかったのは残念だったけど、トラップ作りはとても楽しかったようです。
- カブトムシがトラップにかかっていなくて残念だったけど、楽しみだったし、暗い森も楽しかった。
- トラップにカブトムシがかかっているところを見られなくて残念でしたが、トラップ作り、探索共にとても楽しく参加させて頂きました。
- イベントには楽しんで参加できたが、今年の暑さと開催時期が少し遅いせいか、カブトムシがほとんどいなかった点は残念だった。来年はもう少し（2週間程度）早い時期に実施してもらいたい。
- とても楽しかった。
- 説明がとても丁寧で良かった。また来年機会があれば参加したい。
- また来年も参加したい。次こそ木に止まっているカブトムシを見たい。

## 4. 今後どのようなイベントがあれば参加してみたいですか。

9件の回答

- 星の観察、野鳥の観察
- 昆虫や魚や鳥などと身近に触れ合えるイベントがあると嬉しいです。
- 親子で何か作成するイベント、夏休みの工作等
- カブトムシの飼い方
- 昔のおもちゃ作りがあれば参加したいです。

- 幼稚園児も参加可能なもの
- 夏休み等は、平日のイベントを増やして欲しい。
- JAXA 見学やキッズラボの体験に申し込みたいと思ったけれど、枠がいっぱいだったので次こそは参加してみたい。
- 小学校高学年～中学生向けのネットリテラシー、SNSでのルールやマナーなどが学べる講座



---

## 新入会員紹介

### 加藤 幹雄さん



倉重さんの紹介で、3月の公園作りサポーター講座に参加され、会員になっていただきました。

貢献できそうなこと：造園・園芸、機械・電気・工具のメンテナンス

取り組んでみたいこと：公園の整備

## 9 月理事会

2018 年 9 月 2 日（日）10:00～13:00

出席理事：石渡、市川、上田、岡本、萩原

事務局：工藤

### 1. 課題、提案、検討事項

#### ① 新ハンドブック取り扱い、管理等

→暫定管理：橋本谷さん、版權については今後編集者の柏工房と話を  
する。寄付金は増刷用として NPO の一般会計とは別管理。

#### ② 来年 3 月末をもって役員の任期満了、時期役員の改選

→自選、他薦含め事務局（工藤さん）窓口を受付を行う。

#### ③ 県民プラザの「ヤングパワームーブメント」企画にて、フォト コンテストを行う（県民プラザ青木氏説明）

→若者の街づくりの一環として、こんぶくろ池公園の良さをアピ  
ールする。11/10（予備日 11/11）10 時～15 時フォトコンテスト、  
同日審査。自然体験も含め詳細は市川さんを通して今後打合せ。

### 2. イベント関係

10/21（日）スタンプラリー、ミニコンサート、きのこ観察会

- 10/20（土）午前 管理棟前に受付用テント設営
- ミニコンサート 椅子を配置、置き場としてブルーシート布  
設、出演者謝金合計 1 万円
- スタンプラリーのスタンプカードは昨年のを再利用。不適  
合箇所は手書きで×記入（作業は管理当番へ依頼）
- NPO ののぼりデザイン、送料込みで 2,100 円/枚（税抜き）で  
10 枚手配 石渡

### 3. その他

#### ① 千葉大学地域体験活動

→8/25 受け入れ開始 柏原さん、平野さん

#### ② 竹、園路の刈り込み

→浄化槽手前の竹はバッファとして道路より 1.5m は残す。一般  
園路は基本的にロープ内 0.5m刈込。ツリフネソウエリアは春先から9月  
まではロープ境界までとする。調査班で再確認。

#### ③ 「こんぶくろ池にまつわる民話」の印刷、冊子化

→小学校からの要望も多数あり、印刷見積もり。 萩原

④ T-SITE から 11 月頃の鳥の観察会のイベント開催依頼あり。

→開催可能性について関係者に確認。 萩原

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。

## 事務所内の整理整頓について

最近事務所内の机の上などに使用したままの文房具や道具類が放置され、なかには食べ終わった弁当ゴミ、ペットボトルが置かれたままの状態が散見されます。

使用後の道具類は元の場所に戻すようお願いします。また、弁当ゴミ、ペットボトルなど個人で持ち込んだものは事務所のゴミ箱に捨てず、持ち帰るようお願いします。

事務所内は会議または事務作業を行うスペースですので、机の上は文房具等を除き、基本的に物は置かないようにします。現在工藤さんが事務所、倉庫、工作室を順に整理してくれています。

一人一人の心がけが大切です。皆が気持ちよく使えるようご協力よろしくお願いします。

## 編集後記

こんぶくろ池公園の昆虫相調査を行ってくれている、千葉県昆虫談話会のこれまでの調査で、「この森は明るい森に生息する昆虫よりも暗い森に住む昆虫がよく見られる。」ということがわかってきたそうです。原因としては、クヌギ、コナラ等の広葉樹に老木が多く、また、杉なども大木が多くなっていることが考えられます。

こんぶくろ池公園の森全体を明るくする必要はないと思いますが、多様な生き物が生息できる森にするためにも、広葉樹の萌芽更新や杉などの密集林の間伐は必要だと思われれます。

森の木は光合成により二酸化炭素を吸収し酸素を排出しますが、一方で呼吸により逆に酸素を吸収し二酸化炭素を排出もしています。この光合成による二酸化炭素の吸収量と呼吸による排出量の差が、森林による温室効果ガスの削減効果（純吸収量＝固定量）とカウントされますが、樹齢が高くなるほど吸収量は減少し、逆に排出量は徐々に増えていくため、温室効果ガスの削減効果は期待できなくなります。

こんぶくろ池公園の樹木も、戦後のエネルギー革命以後放置されてきたことを考えると既に 60 年以上が経過しており、適切な除伐・間伐により萌芽更新を図っていくことが、温室効果ガスの削減に貢献出来るとも言えます。（萩原秀夫）